

*フルーレは胴体部分を突くと得点、エペは全身への突きが有効に。サーブルは上半身を突くと得点になる

伊東 歩
Ito Ayumu
一関二高・(3年)

種目・フルーレ優勝/エペ優勝
2種目を制覇し、初のインターハイ出場です。目標はフルーレで8強、エペは優勝です。県大会では、全種目制覇を狙っていました。持ち味は豊富な運動量。相手の動きに負けないよう、常に足を動かし、狙いを定めさせない試合展開を心掛けています。優勝に向けて技を磨きます。

阿部 晴空
Abe Harutaka
一関二高・(2年)

種目・フルーレ2位/サーブル優勝
昨年に引き続いてのインターハイ出場です。改めて、全国で戦えるうれしさが込み上げています。持ち味は相手の動きを観察することと、守りの堅さ。対応型のプレイヤーだと思えます。来年の岩手国体への出場も見据え、16強進出を目指しています。

勝浦 花菜
Katsuura Kana
一関二高・(2年)

種目・エペ優勝
体験入部で見た、迫力の試合に圧倒されてフェンシングを始めました。中学では長距離走をやっていたので、持久力には自信があります。一人では立つことができなかった舞台。多くの支えに応えられるよう、集中力を高め、迷わずにポイントを狙う強さを身に付けたいです。

目指すは全国制覇。極限まで高めた集中力が現代の剣豪たちに勝利をもたらした

佐々木 月
Sasaki Runa
一関学院・(2年)

種目・サーブル優勝/フルーレ2位
2種目で全国への切符を勝ち取りました。小学校から始めた同種目でこれまで全国大会にも出場しましたが、インターハイは初出場。来年の岩手国体に向けた大切な大会。思い切り暴れてきたいです。身上の攻めのフェンシングで上位進出を伺います。

千葉 朱夏
Chiba Akane
一関一高・(2年)

種目・フルーレ優勝
県大会2連覇は、うれしさよりも安心したという感じ。勝たなければというプレッシャーが強かったです。昨年のインターハイでは予選を11位で突破したものの、初戦敗退。先制され、あせりが出ました。落ち着いた試合運びを心がけ、優勝を狙います。

一般にインターハイの出場権は優勝と2位に与えられる。フェンシングにおける県内の全国行き切符は、男女フルーレは2位まで、サーブル・エペは1位だけ。個人戦の8枚すべてを一関勢が手に入れたことになる。選手層の厚さは、折り紙付きだ。一行は、8月から奈良県で開かれる全国大会に出場。現在は、大きな声で自らを鼓舞している。団体枠で出場する一関二高の伊東歩君は「目標は、ずばり優勝」ときっぱり。支えてくれるすべての人たちへの感謝を胸に、チームスローガン同様「獅子奮迅」の活躍を誓う。現代の剣豪たちの活躍に期待したい。



TEAM 1

圧巻。31度目の団体優勝 **一関二高フェンシング部**

左から千田和斗君(1年)、阿部晴空君(2年)、伊東歩君(3年)、千葉俊君(2年)、佐々木功喜君(2年)



県高校ワープロ競技大会で優勝

大東高校ワープロ部

10分間で、どれだけ多くの文章を打ち込めるか。大会では3人の合計点数を競う。誤字は1文字につき10文字分の減点。速さだけでなく、正確さも要求される。同校の得点は5678点。1人平均約1900字を打ち込んだことになる。練習は平日2時間、休日は3時間。毎日着実に、コツコツと積み上げた練習が実を結んだ。個人の部でも鈴木香純さん(3年)が優勝、及川涼一君(3年)は2位に入賞。8月に東京で行われる全国大会へは「今年は打数で勝負したい」と闘志を燃やしている。



さわやか全国小学生一輪車大会に出場

一関一輪車クラブ

滑走しながら、音楽に合わせて舞うことから「陸上のフィギュアスケート」とも呼ばれる一輪車競技。一関一輪車クラブは、9月20日に福島県須賀川市で開かれる全国大会のグループ、ペアの各部門に出場する。鈴木悠里加コーチは「グループは一体感。ペアは安定性と演技力が問われる。自分たちの力を出し切ってほしい」と期待を寄せる。キャプテンの小野寺加菜さん(一関小6年)は「手の動きや表情など、メリハリのある表現を心掛けたい」と意気込んでいる。

特集 真夏の頂点

耳に入ったうれしいニュース。一関勢が続々と全国大会への出場権を手に入れている。インターハイを含む夏の全国大会に出場する7団体と個人7人。この夏、彼らはどんな熱いドラマを繰り広げるのだろうか。全国に挑むアスリートたちに密着。その声を聞いた。

佐藤 夢子
Sato Yumeko
一関学院・(3年)

柔道女子・78kg超級優勝
昨年に続いての優勝。2連覇を達成しました。しかし、決勝では相手に研究され、優勢勝ちでした。ホッとしましたが、昨年のインターハイでは初戦敗退の苦い思い出も。まずは初戦突破。集中してよい雰囲気をつくることを心掛けています。気持ちを引き締め、勝ち上がりたいです。

菅原 百香
Sugawara Momoka
一関一高・(2年)

陸上女子・円盤投げ2位
砲丸投げは、中学のとき先生に勧められて始めました。反復練習で技術を高められるところが好き。もともと負けず嫌いで、ライバルに負けたくない気持ちが記録を伸ばしています。投てきはメンタルを競う競技。正確なフォームを身に付け、費やした練習時間を信じて戦いたいです。

個人戦
一騎当千。ただよう王者の風格。快進撃の末に個人戦を制した彼女たち。強さの秘密をひも解く。